

第4回東御市総合計画策定市民会議 ワークまとめ

I 『自然と多様な人々が共生するまち』(市民生活分野)	1 豊かな自然と共生する循環型社会の推進	①豊かな自然の継承・理解の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・豊かな自然を実感したい ・環境保全を発信してほしい ・「理解」とは具体的に何か(事務事業で示す) ・理解を推進して誇りを持って取り組むことを記載したい
		②ゴミの適正処理と減量・資源化の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・自分ごととしてのゴミの削減に取り組むことを示したい ・「市民・事業者等の3R」だけでなく、「行政」も表現として入れる ・3Rの説明を日本語でわかりやすく示したい ・ゴミの分別についての情報発信を具体的に提示したい
		③地球温暖化対策の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・「一人ひとり」の省エネルギー化を入れたい ・施策名を「脱炭素社会の推進」とし、「地球温暖化対策の推進」は政策としたい ・再生可能エネルギーとともに太陽光発電設置と経過と廃棄に至るまでの費用、特に廃棄にかかる費用を設置の際に業者が説明することが重要である
	2 多様性を認め合う地域づくりの推進	④人権尊重・男女共同参画の推進
		⑤多文化共生の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・交流とは具体的には何を指していくか →事務・事業で具体的に表現
	3 協働の地域づくりの推進	⑥協働の地域づくりの活動の推進
		⑦充実した市民活動のための支援 <ul style="list-style-type: none"> ・「学習の機会の提供」だけでなく、人的・財政的に支援することが必要である ・市民などの自由な発想や取組を後押しする旨の記載があるとよい ・市民が参加しやすい学習の機会とは具体的に何かあるか →事務事業で具体的に表現

第4回東御市総合計画策定市民会議 ワークまとめ

Ⅱ 『共に支え合い、健やかに暮らせるまち』（子育て・健康福祉・医療）	1 子どもを生み育て、充実した時間を過ごせる環境づくり	⑧妊娠・出産・子育てのきめ細かい支援の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・「様々なニーズに応えられる体制」とは具体的に表現したい ・「少子化を抑制」ではなく、「子育ての希望」と表現したい ・「出産・子育てを家庭だけの問題とせず地域社会全体で支える仕組みづくりを推進します」の表現を入れたい ・子育て支援と少子化対策は意味合いが違うため、少子化対策は別で考えるべき
		⑨より豊かな保育の実践 <ul style="list-style-type: none"> ・発達特性や療育支援、親へのサポートなど医療・投薬につながる前の段階を重要視したい ・「信州型自然保育」は公立でしか行っていないため、「野外での活動」などの表現にしたい ・豊かな→より質の高い、保育→幼児教育・保育としたい
	2 子どもから高齢者まで健康で生きがいを持って暮らせる環境づくり	⑩生涯を通じた健康増進の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・各種健康教室を行う時に横のつながりを持っていることで健康に関する情報交換ができる。
		⑪高齢者が活躍するまちづくりの推進
		⑫介護予防（フレイル対策）の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・各公民館の使用方法について、介護予防の集会には枠を設けてもらいたい ・⑩、⑪も関係するが、様々な企画を行う中で来るメンバーは同じ顔ぶれである ・⑩と⑫は同じ目的であるので一つに統合し「潜在的ニーズの把握」という文言を入れる
		⑬地域包括ケアシステムの深化 <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケアの対象はどこになるのか、高齢者のイメージも強いが出産・育児も対象と捉えていく
		⑭地域医療体制の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・一次医療体制の維持 ・「市内および近隣医療機関との連携による地域医療体制を構築し必要な時に…まちの実現を目指します」としたい ・「市民病院の健全な経営環境を整えるとともに、県の地域医療構想との整合を図り、持続可能な…」としたい ・「再編・ネットワーク化…に取り組み」は不要

第4回東御市総合計画策定市民会議 ワークまとめ

3 困難を抱える人の把握と支え合いや支援の推進	<p>⑮支え合う地域福祉づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今までの体制・システムの見直し (民生児童委員や区役員などの踏襲すべき点と見直すところ) ・「個別計画」の文言は具体的すぎる ・「市・福祉事業者…」を「市・民生委員・福祉事業…」とした い
	<p>⑯障がい者（児）福祉の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい者の方が交流できる仕組みがあると良い ・「…関係機関と連携した包括的な相談体制を維持するとともに…」を「関係機関と連携した包括的な支援体制をより強化するとともに…」と変える
	<p>⑰ひとり親・生活保護・生活困窮世帯等の自立支援と生活の安定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との連携について、今まで以上に進めたい点を記載できないか ・「重層的な」の表現を入れたい

第4回東御市総合計画策定市民会議 ワークまとめ

Ⅲ 『誰もが学び自分らしく耀けるまち』（教育・文化・スポーツ分野）	1 夢を持ちたくましく生きる子が育つ環境づくり	⑱ 確かな学力、豊かな心、健やかな身体を育む教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・「青少年の健全育成」の表現があると良い ・部活動等に地域の退職教員の方を活用出来ないか、スキマ時間でも多くの人に参加する方法を考えたい ・地域や関係機関等の連携により、子どもたちの好奇心を満たす学校環境 ・東御市にある様々な企業と協力し職場体験を充実させる
		⑲ 安全・安心な子どもの居場所づくり <ul style="list-style-type: none"> ・「教育環境の整備」の文言を加えたい ・「民間の児童クラブ等に関する情報発信」は誰に対して行うのか ・「状況に応じた支援」ではなく、「個に応じた支援」や「一人ひとりに応じた」という表現としたい ・市の実態や現状をしっかりと伝えて共感を求める ・様々な子どもたちの実態に寄り添った多様な学びの場づくりが必要 ・学齢に応じたICT（ネットリテラシー含む）教育を進めたい
	2 誰もが生涯を通じて学び合い・実践できる環境づくり	⑳ 人づくり、地域づくりにつながる生涯学習の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・市民の持ち味や特技を活かした学びの場の充実 ・市内企業の方を講師とした学びの場づくりをしたい ・高齢者が中央公民館まで出向かなくても学べる場所や学習の機会があると引きこもりを予防できるかもしれない ・楽しみながら人の輪を広げ、他人のことも思いやれる優しさを育むような企画が大切 ・成人学校メニューの充実
		㉑ 芸術・文化・スポーツの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・「芸術・文化・スポーツ」ではなく、「文化・芸術・スポーツ」とした方が良い ・「スポーツ活動においては、市民や利用者にとって魅力的な機会や環境を充実・提供させるとともに…」とした方が良い ・ユニバーサル活動の文言があると良い ・「加えてスポーツツーリズムを推進…」の部分は観光分野になると考える
		㉒ 文化財の保存と活用 <ul style="list-style-type: none"> ・「…お祭りや伝統芸能…」の部分を「…文化財や伝統芸能…」と表現を変えたい

第4回東御市総合計画策定市民会議 ワークまとめ

		<ul style="list-style-type: none">・「東御市文書館における公開文書目録の登録数を増やすとともに、特に行政文書は適切に選択して公開し…」としたい・文書館には当市の文化財がたくさん収集されており、その宣伝として広報活動をしたい
--	--	---

第4回東御市総合計画策定市民会議 ワークまとめ

Ⅳ 『魅力と活力があふれる産業のあるまち』 (産業・経済分野)	1 地域の魅力を高める農業の振興	②③農地・里山・森林の保全 <ul style="list-style-type: none"> ・担い手農家の集積の前段階として兼業農家の気概を引き出す必要がある ・農地活用集積者のセーフティネットの構築 ・里山・森林の保全の内容の記載がほしい ・スマート農林業に関する事項の追記
		②④東御ブランドの強化や特産品の振興 <ul style="list-style-type: none"> ・「産業としての農業を維持…」に「持続可能な」の文言を入れたい ・ワイン文化の情報発信を入れたい ・「認証取得～知的財産化」を削り「農福連携の受け皿となる生産者の支援を推進」としたい ・市内産ワイン強化と一般大衆への消費拡大 ・「維持・拡大」ではなく「持続的に拡大」としたい
		②⑤農業の担い手の育成・支援と安定的な農業経営の確立 <ul style="list-style-type: none"> ・「次代の担い手がいるまち」ではなく、「次代の担い手が充実したまち」としたい ・個人経営者の考えを公表し、窓口担当だけでなく広く考えを収集する
	2 暮らしを豊かにする商工業の振興	②⑥商工業の育成と雇用の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・市内企業を知ってもらう取組みがあると良い ・「成長意欲のある」を前向きな表現としたい ・企業誘致はどのような企業でもよいという体制ではなく、市の特徴を活かせるような業種に対して呼びかけを行ったらどうか
		②⑦新規起業者への支援 <ul style="list-style-type: none"> ・「B to Cサービス」の表現を分かりやすくしたい ・情報提供も必要だが、まず先に情報発信が必要である
		②⑧地域資源を活用した体験型・滞在型観光の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・「観光コンテンツ」の文言が多いので別の表現を考えたい
	3 まちにぎわいをもたらす観光の振興	②⑨中心市街地のにぎわい創出 <ul style="list-style-type: none"> ・景観の拠点を決めて、寄って行ける場所を増やす ・各種集客イベントの文言だけでなく、表現を考えたい ・中心市街地だけでなく海野宿も含めた表現にしたい

第4回東御市総合計画策定市民会議 ワークまとめ

V 『便利で安心して暮らせるまち』 (都市インフラ・防災分野)	1 都市インフラの維持・充実	⑩安全・快適な道路環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・最下段の「また、自転車道の整備を検討します」に「歩道」を追記したい ・「納得度の高い」を「安心な」や「快適な」の表現としたい
		⑪公共交通の利便性向上 <ul style="list-style-type: none"> ・「新しい技術の導入を積極的に検討しながら見直しを繰り返し、利便性の高い持続可能な公共交通体系の構築を推進していきます。」と表現を変えたい ・東御市地域公共交通計画に沿った文言を使いたい →豊かで幸せな市民生活を支える持続可能な公共交通環境の実現
		⑫上下水道の維持・管理 <ul style="list-style-type: none"> ・「安全で災害に強い」の災害の視点は「⑭災害に強い都市インフラづくりの推進」で述べたい
		⑬ゆとりある住環境づくりの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・「個人住宅の耐震化」については「⑭災害に強い都市インフラづくりの推進」で述べたい
	2 災害に強い地域づくりの推進	⑭防災意識の高揚と防災体制の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・「広報・ホームページ・各種会議等…」ではなく、「広報・ホームページ・防災ラジオ・SNS等…」としたい ・DXを活用したスピーディな情報提供(避難情報、災害情報)の提供
		⑮地域消防体制の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・「市民・事業者・地域」の部分「地域と連携して、市民・事業者…」としたい ・常備消防との連携の表現があると良い
		⑯災害に強い都市インフラづくりの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・備えだけでなく、復興や復旧等の起こってしまった後の対応(財政支援)を示したい ・「雨水排水対策を推進することで…」の部分「集中豪雨時の冠水被害箇所情報等による調査・検討を踏まえ、計画的に対策を推進することで…」と表現を変えたい ・“個人住宅を含めた”建築物としたい

第4回東御市総合計画策定市民会議 ワークまとめ

	3 暮らしの安全の確保	⑳地域防犯活動の推進 ・「防犯意識の醸成」ではなく、「防犯意識の高揚」としたい (醸成は0からスタートするイメージ)
		㉑安心な消費生活への支援
		㉒交通安全活動の推進

第4回東御市総合計画策定市民会議 ワークまとめ

VI 『持続可能な選ばれるまち』 (行財政運営分野)	1 シティプロモーションの推進	<p>④⑩地域ブランドの構築・発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域ブランドの目指すゴール設定が必要 ・「パブリシティ」や「メディアリレーション」の表現を分かりやすいもので示したい ・地域ブランドのイメージを市民から公募してつくる ・ふるさと納税の御礼で体験型・経験型の返礼を設ける ・市のイベントは市外の人向けに行っている印象があるが、市民限定で行うイベントがあってもよいのではないか ・「構築」はどの部分にあたるか ・ただ緑があふれている風景を魅力とするのではなく、整備や手入れがされた魅力ある自然をみせていきたい
	2 移住・定住の促進	<p>④⑪シビックプライドの醸成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「…共有することで東御市への誇りと愛着の醸成を目指します。」としたい ・地域ブランドを知るために特産品を食べる機会を創出したい ・市民への期待として、毎日の日常を簡単に発信 ・市役所の「日常」をSNSでこまめに発信
	3 DXによる行政サービスの 利便性向上	<p>④⑫DXの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報漏洩についての対策はどうか(疑いが強いと利用しない) ・“寄り添う”や“身近な窓口”などの表現を使いたい ・「DX＝マイナンバーカードの普及」は無理があるように感じる ・「各自端末から」や「タッチパネルから」といった表現を使いたい ・高齢者にこそ優しいDX

第4回東御市総合計画策定市民会議 ワークまとめ

4 市民の信頼に応える 行財政経営の推進	④効果的で持続可能な行財政経営の推進
	④⑤市民の声に向き合う広聴・広聴活動の推進
	④⑥広域連合による共同事業の促進

- ・「PDCAサイクル」は市民が理解できる言葉であるか
- ・攻めの表現も必要でないか
- ・循環に対する具体案があると良い
- ・「市民の声を聞く」などの文言があると良い

- ・学校へ出向き若者の声を聞く
- ・「声なき市民ニーズ」を「見えにくい市民ニーズとしたい
- ・「一人ひとりに行き届く広聴活動」といった表現をしたい
- ・個人が意見を言える場所の創出

- ・定住自立圏での暮らしの具体的なイメージの発信